



2014年2月20日

各 位

会社名 イオン九州株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山口 聡一
 (コード番号: 2653 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 榊 隆之
 (電話番号 092-441-0611)

当社の親会社名 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第1部)

2014年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2013年4月9日に公表しました2014年2月期(2013年3月1日~2014年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2014年2月期 通期業績予想の修正 (2013年3月1日~2014年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	253,000	3,100	2,850	1,200	63.93
今回修正(B)	245,000	250	400	100	5.33
増減額(B-A)	8,000	2,850	2,450	1,100	
増減率	3.2%	91.9%	86.0%	91.7%	
【ご参考】 前年同期実績	252,196	2,643	2,843	690	36.79

2. 修正理由

経済環境は、政府による経済・金融政策などにより、緩やかな景気回復の動きが見られ、高額商品を中心に消費回復の兆しが見られるものの、当社の売上の中心である生活必需品では、お客さまの節約志向が継続すると共に、競争他社との価格競争も厳しさを増しております。

当社の特性として売上構成の高い第4四半期において売上の拡大を図り、公表数値の確保に努めてまいりましたが、年間最大の商戦時である12月中旬から1月において、売上が計画を下回りました。

部門別の状況では、食品において売上は前年を上回るものの、売上総利益額は業種業態を超えた価格競争により計画を下回る見込みです。荒利益率の高い衣料品においては、個店ごとの商品構成の見直しを行い、収益性の改善に努めてまいりましたが、カジュアル衣料における競争環境の激化により、売上、売上総利益額ともに計画を下回る見込みです。

経費につきましては、計画を上回る削減に努めましたが、売上の伸び悩みによる売上総利益額の減少を補うことが出来ない見込みとなりました。

これにより、上記のとおり業績予想の修正を致します。

なお、配当予想につきましては、変更いたしません。

* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上